

2018年度の事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人花山星空ネットワーク

1 事業の成果

・以下の事業を実施し、多数の一般市民に対して天体観測・天体観測教室・天文科学振興のための講演会などおよび刊行物の発行やホームページでの発信を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
天体観測	<b>第72回花山天体観望会「月」</b> 晴 45cm屈折望遠鏡・小望遠鏡で月を観望した。「月」についての講演会と初夏の星座教室を行った。	(A) 4月28日 (B) 花山天文台 (C) 18名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 91名	287
	<b>第73回花山天体観望会「木星とガリレオ衛星」</b> 晴 45cm屈折望遠鏡小望遠鏡で木星とその衛星を観望した。「ガリレオ衛星」についての講演会と春の星座教室を行った。	(A) 5月26日 (B) 花山天文台 (C) 19名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 100名	294
	<b>第74回花山天体観望会「木星と月」</b> 晴 45cm屈折望遠鏡・小望遠鏡で木星と月を観望した。「木星」についての講演会と夏の星座教室を行った。	(A) 7月21日 (B) 花山天文台 (C) 18名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 76名	274
	<b>第75回花山天体観望会「火星と土星」</b> 晴 45cm屈折望遠鏡・小望遠鏡で火星と土星を観望した。「火星」についての講演会と夏の星座教室を行った。	(A) 7月21日 (B) 花山天文台 (C) 21名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 101名	303
	<b>第76回花山天体観望会「名月と名曲」</b> 曇 琴、尺八の名曲を鑑賞し、45cm屈折望遠鏡の見学、「星雲」の講演会を行った。	(A) 9月24日 (B) 花山天文台 (C) 17名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 66名	313

	<b>火星大接近天体観望会 京大 吉田南グラウンド（共催）</b> 晴 花山天文台の主催行事に協力した。	(A) 7月31日～8月2日(3日間) (B) 京大吉田グラウンド (C) のべ32名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) のべ1300名	0
	<b>火星大接近天体観望会花山天文台（共催）</b> 晴 花山天文台の主催行事に協力した。	(A) 7月31日・8月3日(2日間) (B) 花山天文台 (C) のべ3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 100名	0
	<b>花山天文台特別公開（共催）</b> 晴 花山天文台の施設設備公開に協力した。	(A) 11月3日 (B) 花山天文台 (C) 12名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 142名	14
天体観測体験教室	<b>第11回こども飛騨天文台天体観測教室</b> 飛騨天文道路崩壊の為中止	(A) 8月4日～8月6日 (B) 飛騨天文台他 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 0名	232
	<b>第9回飛騨天文台自然発見ツアー</b> 飛騨天文道路崩壊の為中止	(A) 10月6日～8日 (B) 飛騨天文台他 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 0名	29
天体観望指導者養成講座	<b>2017年アメリカ日食観測データ第8回検討会</b> アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 4月21日 (B) 花山天文台 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 12名	175
	<b>2017年アメリカ日食観測データ第9回検討会</b> アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 5月24日 (B) 花山天文台 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 7名	
	<b>2017年アメリカ日食観測データ第10回検討会</b> アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 6月17日 (B) 花山天文台 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 6名	

2017 年アメリカ日食観測データ第 11 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 9 月 18 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8 名	
2017 年アメリカ日食観測データ第 12 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 10 月 16 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8 名	
2017 年アメリカ日食観測データ第 13 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 11 月 22 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8 名	
2017 年アメリカ日食観測データ第 14 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 1 月 17 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8 名	
2017 年アメリカ日食観測データ第 15 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 2 月 9 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 7 名	
2017 年アメリカ日食観測データ第 16 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 2 月 26 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 7 名	
2017 年アメリカ日食観測データ第 17 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約し、研究の方向を確認した。	(A) 2 月 28 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 6 名	
2017 年アメリカ日食観測データ第 18 回検討会 アメリカ日食で得られた観測データを整約した研究発表内容を確認した。	(A) 3 月 11 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 6 名	
第 1 回 H $\alpha$ フィルタ透過波長測定会 (第 7 回太陽観測講習) 小型太陽望遠鏡の H $\alpha$ フィルタの性能を調査した。	(A) 10 月 30 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 14 名	59
第 2 回 H $\alpha$ フィルタ透過波長測定会 (第 8 回太陽観測講習) 小型太陽望遠鏡の H $\alpha$ フィルタの性能を調査した。	(A) 12 月 6 日 (B) 花山天文台 (C) 2 名	(D) 一般市民及びこの法人の会員	

			(E) 11名	
	<b>第2回4D宇宙シアター解説者養成講座</b> 4次元宇宙シアター(ミタカ)の操作・解説法の講習を行い、研究した。	(A) 10月13日 (B) 花山天文台 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 12名	34
天文学振興のための講演会など	<b>第21回講演会</b> 「金の生成現場を捉えた? - 中性子星合体 GW170817 の光赤外線追跡観測-」 吉田道利氏 (国立天文台ハワイ観測所 所長) 「星の第二の人生 -超新星からブラックホールまで-」 川中宣太氏 (京都大学白眉センター 特定准教授)	(A) 6月10日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 7名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 81名	67
	<b>第22回講演会</b> 「昨今の黒点数の減少はミニ氷河期到来の予言か?」 浅井歩氏 (京都大学理学研究科附属天文台 准教授) 「未知の自然現象に挑む~雷が反物質を作る!」 榎戸輝揚氏 (京都大学白眉センター 准教授)	(A) 12月8日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 9名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 54名	85
	<b>アメリカ日食観測データ解析報告会 -2019年日食観測に向けて-</b> 2017年アメリカ日食観測データ検討会で解析した結果と2019年の日食情報などを報告した。	(A) 12月15日 (B) 京都大学理学研究科 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 30名	130
	<b>天文台基金 野外コンサート (共催)</b> 天文台が実施した野外コンサートで観望会を行った。	(A) 10月7日 (B) 花山天文台 (C) 11名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 300名	14
	<b>京都千年天文学街道 アストロトーク</b> 天文現象の解説と4次元デジタル宇宙シアターの上映を行った。	(A) 6月23日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 17名	389
		A) 9月29日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 4名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 15名	

		A) 12月15日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 20名
		A) 3月30日 (B) 京都大学総合博物館 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 30名
	<b>暦合戦コース</b> 沖方丁原作の「天地明察」で描かれた渋川春海の旧跡を訪問した。	(A) 5月20日 (B) 西大路 (C) 3名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 12名
	<b>平安京コース</b> 平安京の中心地帯を歩きながら、天文学に関連した史跡を見学した。	(A) 6月17日 (B) 二条城～4千本丸太町 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 5名
		(A) 10月14日 (B) 二条城～4千本丸太町 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 1名
	<b>明月記コース</b> 古代の天文現象を解説しながら、それらに関連した歴史的名所を訪問した	(A) 4月28日 (B) 今出川通 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 4名
		(A) 11月18日 (B) 今出川通 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 9名
		(A) 3月31日 (B) 今出川通 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 5名
	<b>信長と天変コース</b> 出町柳から京都御苑界限を歩いて信長に関連する史跡を訪ねた。	(A) 5月5日 (B) 出町柳～京都御苑界限 (C) 2名	(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 8名

	<p><b>真如堂特別コース</b> 京都大学宇宙物理学の先達を紹介しながら、安倍晴明ゆかりの神社を参拝した。</p>	<p>(A) 7月25日 (B) 京都大学～真如堂 (C) 1名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 4名</p>	
	<p><b>京大・神楽岡コース</b> 京都大学宇宙物理学の先達を紹介しながら、安倍晴明ゆかりの神社を参拝し、浄土宗の名刹金戒光明寺を訪ねた。</p>	<p>(A) 7月25日 (B) 京都大学～真如堂～金戒光明寺 (C) 2名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 1名</p>	
	<p><b>第8回京大宇宙落語会</b> 京都大学出身の落語家による宇宙に関連した落語を行った。</p>	<p>(A) 12月1日 (B) 京都大学益川ホール (C) 5名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 150名</p>	0
<p>刊行物やHPによる情報発信提供</p>	<p><b>HPの更新</b></p>	<p>(A) 随時 (B) 事務所 (C) 2名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名</p>	1943
	<p><b>会報「あすとろん」43号発行</b> 各種天体现象の紹介、総会報告、講演会の解説記事を掲載した。</p>	<p>(A) 6月 (B) 事務所 (C) 4名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名</p>	
	<p><b>会報「あすとろん」44号発行</b> 各種天文現象の解説、イベント参加報告を行った。講演会の解説記事を掲載した。火星大接近について特集をした。</p>	<p>(A) 9月 (B) 事務所 (C) 4名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名</p>	
	<p><b>会報「あすとろん」45号発行</b> 各種天文現象の解説、講演会の解説記事の掲載、イベント参加報告を行った。</p>	<p>(A) 12月 (B) 事務所 (C) 4名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名</p>	
	<p><b>会報「あすとろん」46号発行</b> 各種天文現象の解説、会員の投稿、イベント参加報告を行った。</p>	<p>(A) 3月 (B) 事務所 (C) 4名</p>	<p>(D) 一般市民及びこの法人の会員 (E) 600名</p>	

総会	第 11 回通常総会・懇親会	(A) 6 月 10 日 (B) 京都大学理学 研究科 (C) 6 名	(D) この 法人の 会員 (E) 236 名 (う ち書 面 表決者 179 名	276

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	事業費の金額 (単位：千円)
実施しな かった。			

(備考)

1 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。